

科目名	教材・授業研究 I (言語)	担当教員	前嶋深雪
科目属性	専門科目 A	単位数	2単位 (面接1単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>この授業では、実践的指導力を高め、教材開発力の育成を目指しています。言語（国語科）におけるこれらの力は、言葉への深い理解という基礎があってはじめて獲得できるものとなります。世界中にある数多くの言語の中の一つとしての日本語の特徴をとらえること、日本語の変遷の歴史を知ること——つまりは、言語学の知識と日本語学の知識の獲得——によって、学校での授業展開の幅を広げていきます。</p> <p>日本語という言語の特質をつかむことが、児童生徒が「みずから考え」、「言葉を扱うことをおもしろいと感じ」、同時に「読みを深める」ための指導の方法と教材の提供を容易にしていけるでしょう。</p> <p>また、文章の構造分析の力も大切です。国語の教科書には、説明文や物語文がテキストとして採録されています。説明文の構造、物語文の構造をきちんととらえるには、訓練が必要です。そして、構造をとらえられなければ、文章を正しく読み取ることにはできません。国語の教科において、児童生徒がなにゆえに説明文や物語文を読まねばならないのかと言えば、構造を分析する力を獲得し、次に、自分で表現する力を得るためです。ものごとを理解し、表現するための力を得るための説明文であり、物語文です。そのための教材研究の訓練と授業展開の幅を広げるための学びを行います。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の4つとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語学と日本語学の知識を持ち、言葉（日本語）に対する理解を深める 2. 物語文及び説明文をテキストとして構造を分析し、コミュニケーション活動を活用した授業展開ができる 3. 文法や漢字の学習について、児童がみずから学び、考え、理解するための教材の工夫ができる 4. 言葉で表現することが楽しいと感じるための指導と教材の工夫ができる 			
<p>【授業計画】</p> <p>全15回（2単位）の講義内容における学修量は、以下のようになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語学と日本語学（第1回～第4回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①ソシュールまでの言語学とソシュールからの現代言語学の歴史と用語（テキストを読む視点） ②日本語学（日本語の変遷の歴史 書字の変遷の歴史） ③言葉のシステムについて学ぶ（記号論、構造主義の視点から） 2. 物語文と説明文の教材演習（第5回～第8回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①物語文と説明文について、テキストの構造を理解する ②物語文・説明文を教材とした授業展開案の作成演習（発問と教材の工夫） ③コミュニケーション活動を活用した物語文と説明文の授業展開（言語活動の活用） 3. 小学校における文法と漢字学習の授業演習（第9回～第12回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①小学校の現代日本語文法の授業展開案の作成（文法を楽しんで学ぶための教材と授業展開） ②古典文学作品を教材とする授業展開案の作成（古典作品を楽しむための教材と授業展開） ③漢字学習についての考え方と授業展開案の作成（漢字を楽しみながら学ぶための教材と授業展開） 			

4. 小学校における作文授業演習（第13回～第15回相当）

- ①子どもたちの視点でとらえた作文体験の実態と明確な作文指導の実践方法
- ②作文指導の授業展開案作成演習（目的のある文章づくり）

【評価方法】

レポート6本（このうち4本が必須レポート、2本が任意レポート）40%、スクーリング内容が30%、科目修得試験30%の割合で総合しての評価となります（受講の年度中に星槎大学の紀要やその他の学術論文誌に掲載が決まった場合は、レポート数に含まれます）。

必須レポートと任意レポートの提出については、スクーリング前までには、少なくとも1本以上提出することが必要です。残りのレポートについて、提出期日や提出順番は自由で、締め切り期日はありません。「IV レポート課題」に10つの課題を挙げました。このうちの課題を自由選択し、必須レポート4本、任意レポート2本として仕上げてください。必須レポート4本と任意レポート2本の合計6本のレポートの提出によって、レポート評価を行います。

必須レポート・任意レポートの目的は、基礎知識の充実です。言語学や日本語学中心のテーマとなっています。すべてを面接・対面方式のスクーリング授業で学ぶのではなく、通信制大学院の良さを生かし、みずから学び、深めることのできる知識は必須レポート・任意レポートで、スクーリングでは面接・対面に適した授業を展開していく計画となっています。

【教科書】

- ① 工藤浩他『改訂版 日本語要説』（ひつじ書房、2009）ISBN：9784894764682

【参考図書】

ソシュール『一般言語学講義』（小林英男訳 岩波書店、1972）

ISBN：9784000000895

福井直樹『自然科学としての言語学 一生成文法とは何か一』（大修館、1999）

ISBN：9784469212655

谷口一美『学びのエクササイズ 認知言語学』（ひつじ書房、2006）

ISBN：9784894762824

小松英雄『日本語はなぜ変化するか 母語としての日本語の歴史』（笠間書院、1999）

ISBN：978-4305701848

町田守弘『国語科の教材・授業開発論 一魅力ある言語活動のイノベーション』（東洋館出版社、2009）

ISBN：9784491025049

世羅博昭『6年間の国語能力表を生かした国語科の授業づくり』（日本標準、2005）

ISBN：9784820802587

橋爪大三郎『はじめての構造主義』（講談社現代新書、1988）

ISBN：9784061488984